

大洗おしゃべり広場プロジェクト

地域交流

国際交流

代表者：人文学部 3年 大高 聡史

連携先

大洗国際交流協会（大洗町役場 まちづくり推進課）

顧問教員

金本 節子（人文学部・教授）

参加者

大高 聡史（人文学部 3年）
木村 奈緒美（人文学部 3年）
関 綾乃（人文学部 3年）
水上 咲希（人文学部 3年）
山根 舞姫（人文学部 3年）
由一（大学院人文科学研究科 1年）
程文静（大学院人文科学研究科 1年）
郭恩嘉（人文学部 研究生）
邵瑜（人文学部 研究生）
陳松（人文学部 研究生）

プロジェクトの申請内容

◆プロジェクトの概要

このプロジェクトは、大洗国際交流協会と連携し、大洗町在住の外国人と日本人町民とを中心とした地域交流を行います。交流を通して、外国人が日常生活で抱える悩みや日本語能力の向上に貢献することを目的とし、そのためのコミュニケーションの場の構築を目指します。

◆連携の方法

現在、大洗役場・大洗国際交流協会では、東日本大震災を契機に、緊急時にも役立つ外国人のための地域交流ネットワーク作りと、近年停滞気味の外国人と地域住民との地域交流を活性化するため「おしゃべり広場」の企画を考えています。私たちは十月から二月までの毎月第一日曜日に開催されるおしゃべり広場に参加し、協力して、地域ネットワークと活発な国際交流の場の構築を目指します。同時に、私たち学生の視点から考えた独自の交流活動を提供します。

大洗国際交流協会が交流の場の提供、広報を行い、町民ボランティア、外国人通訳ボランティアおよび役場の担当者と協力して若者の視点を生かした有意義なコミュニケーションのためのイベントを企画・運営します。

◆実施計画

- ・やさしい日本語クリニック：外国人のみなさんの日本語の問題点などを指摘・改善を目指す
- ・悩みごと相談コーナー：異文化コミュニケーションの視点を生かして、悩み事にアドバイス
- ・みえないルールを紹介コーナー：生活に役立つ日本文化の見えないルールの紹介
- ・ゲームコーナー：多文化の子供たちと一緒にやさしい日本語でゲームを楽しむ
- ・日本の絵本を楽しむコーナー：多文化の子供たちに名作、話題の本の紹介と絵本の読み聞かせ

◆期待される効果

やさしい日本語を使った会話でコミュニケーションすることにより、外国人住民の日本語能力

の向上に繋がり、外国人と日本人との情報交換が円滑に進み、地域ネットワークの構築に貢献できると考える。

悩み相談や日本独自のコミュニケーションについてアドバイスすることにより（必要に応じて外国人通訳ボランティアと連携する）、日本語能力以外の日常生活に必要な生活文化を知る機会を提供できる。また子どもを対象にしたゲームや絵本の読み聞かせにより、子どもを持つ人達も参加しやすくなり、より多くの人がおしゃべり広場を楽しむことが可能になると考える。

中国人留学生の参加により、中国人研修生の日本語や生活の問題への対応がよりスムーズになる。

プロジェクトの実施概要

◆大洗町役場、学生両者の動機

大洗町役場：3月11日に起きた東日本大震災を受けて、震災時における情報交換、安否確認等を可能にする地域住民同士のネットワークの必要性を感じた。

学生側：茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科異文化コミュニケーションコース、異文化コミュニケーションについて学ぶ学生がメンバーであり、授業で学んだことを実践できる、多文化コミュニケーション活動の場を求めている。

◆目的

大洗町役場：大洗おしゃべり広場を通じ非常時の情報ネットワークの確立

学生：両者のコミュニケーションの場の構築

◆共通目的

大洗おしゃべり広場を通して、外国人と日本人の国際交流を活性化する。

◆実施日程

10月	大洗おしゃべり広場震災について
11月	大洗おしゃべり広場生活の悩みについて
12月	大洗おしゃべり広場クリスマスパーティー (各国のクリスマス文化について)
1月	大洗おしゃべり広場意見交換会実施
2月	大洗おしゃべり広場各国のバレンタインについて

◆実施内容

- ・やさしい日本語クリニック
- ・悩みごと相談コーナー
- ・みえないルールの紹介コーナー
- ・ゲームコーナー
- ・日本の絵本を楽しむコーナー
- ・各国の料理紹介
- ・中国の文化クイズ
- ・スリランカの紅茶試飲
- ・ペルーの歌紹介
- ・大洗音頭実施

プロジェクトの成果報告

《第一回》

日時・場所：10月2日 大洗中央公民館

参加人数：外国人19名、日本人16名

内容：震災時の状況報告、震災に関するアンケート調査（4ヶ国語）

成果：多くの外国人住民から、避難先や連絡方法が分からなかったという問題点が挙げられたため今後災害時に外国人住民達へどのような配慮をすべきなのか理解が深まった。

《第二回》

日時・場所：11月6日 堀割集会所

参加人数：外国人11名、日本人26名

内容：中国の切り絵体験、日本の小物紹介、インドネシア料理の試食、各国の文化に関する

おしゃべり

成果：地元の祭りや日程が重なったこともあり外国人が思うように集まらず、グループ内の日本人と外国人のバランスが悪くなってしまった。また、日本語が堪能な外国人が多く、日本語クリニックなどは行えなかった。

《第三回》

日時・場所：12月4日 堀割集会所

参加人数：外国人21名、日本人24名

内容：各国のクリスマス料理の試食、中国文化クイズ、絵本読み聞かせ、参加者へのクリスマスプレゼント、クリスマスに関するおしゃべり

成果：クリスマスパーティーを企画し、飾りつけやサンタの衣装で会場を盛り上げる事ができた。子供の参加が多かったため、紙芝居を行ったところ大変好評だった。

《意見交換会》

日時・場所：1月21日 大洗中央公民館

内容：外国人町民と大洗町役場の職員、日本人参加者を交え、これまでの広場の感想や改善点、今後の要望など話し合った。プロジェクト終了後も国際交流の場として継続、定着させることに全員が意欲的だった。

《第四回》

日時・場所：2月5日 堀割集会所

参加人数：外国人14名、日本人32名

内容：各国のバレンタインのお菓子の試食、中国文化と日本文化のクイズ、パルーの歌披露、スリランカの紅茶紹介、絵本読み聞かせ、町民による大洗音頭、バレンタインに関するおしゃべり

成果：意見交換会で挙げた要望や提案を元に企画を行った。日本の文化だけでなく外国の文化も紹介することで、日本人の参加者も外国人に対する理解が深まった。



(第一回おしゃべり広場 震災について)



(第二回目のおしゃべり広場の様子)



(地元ボランティア団体との絵本読み聞かせ)

《全体の成果》

- ・ 広場を通じて外国人住民と町役場の情報交換が活発化した。
- ・ 参加者の建設的なアイデアによって交流内容が多様化し、回を追うごとに企画が増えた。
- ・ ネットワークが徐々に拡張されたことで、口コミなどを通して参加者が増加、多様化した。
- ・ 学生と役場が企画していたものに町民の主体的参加が加わったことで、より一体感のある広場になった。



(ペルー出身の方による自国の歌紹介
参加者の意見で開催)

《今後の期待》

参加者人数が毎回40名前後であった。しかし、大洗おしゃべり広場によって大洗町に国際交流の為の場所が生まれた。参加者の方から大洗おしゃべり広場に対し高評価を頂く事が出来た。これからも大洗おしゃべり広場を継続して行っていくことで、日本人と外国人の地域交流が活発になり、更なる国際交流が進むことが期待される。



(参加者の皆さんと)